

行政 トピックス



これまでの災害を教訓とし
安心安全な防災計画を練る

—南丹市防災会議—

7月26日、国際交流会館で南丹市防災会議が開催されました。

佐々木市長が「これまでの災害の教訓を踏まえ、地域防災計画などを見直すとともに、各機関とさらに連携を強めていきたい」とあいさつ。



▲審議を行う委員ら



▲昨年度の京都府総合防災訓練にて、避難する住民ら

会議では、「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂により、避難準備情報などの名称変更が行われたこと、京都府での河川における危険水位などの判断基準が変更されたこと、さらに、昨年度の京都府総合防災訓練で判明した課題などに基づき、南丹市地域防災計画の見直しについて審議。あわせて、冬季の除雪計画について、地域の生活道路を優先した除雪路線とする見直し案を審議し、両計画の変更が承認されました。

また、今年10月に予定されている、平成29年度南丹市総合防災訓練のプログラムについても審議されました。

公共施設のこれからを探る

—南丹市公有財産の利活用及び処分等に関する検討委員会—

公共施設の老朽化などによる更新問題は、全国的にも大きな課題となっており、平成26年、総務省から「公共施設等総合管理計画」の策定要請がありました。南丹市では、8月4日、第4回目となる検討委員会を開催。本年9月の答申に向け、審議を行いました。

市では、将来世代の財政負担軽減や適切な維持管理などを図るため、公共施設の再配置計画を平成30年度に策定する予定です。



▲意見交換する委員ら



▲受賞された株式会社栄土木と市理事者

（株）栄土木が3度目の受賞

—南丹市優良建設工事表彰式—

8月9日、9回目の開催となる南丹市優良建設工事表彰式を行いました。この表彰は、市発注建設工事のうち、他の模範となる優れた工事を施工した者を表彰し、公共工事の品質の確保や受注業者の技術力などの向上を図ることを目的としています。今回は株式会社栄土木が受賞。南丹市発足以来3度目の受賞となりました。

佐々木市長はあいさつの中で、「更なる品質の確保と技術の向上、発展に尽力いただきたい」と述べました。